

第一章 一般 狀 勢

昭和二年十二月に開催した我黨第二回全國大會の終了した以後、昭和三年度の第三回全國大會に至るまでの黨發達の一般狀勢を述べれば、過去一年間に於ける黨勢の發達は、實に顯著なるものである。これ我黨の指導精神が我國現下の客觀的狀勢に適合したることを立證するものであつて、確かに我黨の勝利的前進を明示するものでなければならぬ。

第二回全國大會現在の調査よれば、一聯合會、三十九支部、黨員數二萬千を算したが、第三回全國大會現在に於いては、六聯合會、八十五支部、黨員數約四萬七千を數ふるに至つた。尙ほ支部準備會は現在二十を算して居る。即ち黨勢は優に倍加し、更に今後の裕々たる發展力を示して居る。茲に注意すべきことは、他の無產政黨が一部の又は全部的に我黨に加盟し來つたことであつて、昭和三年十月廿七日佐世保民衆黨が我黨に合同し、同年十二月七日民衆進黨が我黨に合流し來つたことは、最も特筆すべき事實である。これらの地方政黨と系統を同する各地方の無產政黨が我黨に合流することも極めて近き將來のことと豫想される。更に昭和三年十月二十八日日本勞農黨所屬の群馬縣聯合會が分裂して、その主要勢力が我黨に合流し來つたことも深き意義を持つものである。

我黨が普選第一回の總選舉に於いて健闘したる後、秋毫も疲勞することなく、引きつづき活潑なる日常闘争を行ひたるが、黨勢發達の上に好結果をもたらしたことは勿論であるが、更に記憶すべきことは、我黨を支持する各勞働組合、農民總同盟、借家人組合、社會民衆婦人同盟、俸給協會等の各種團體が、果敢なる運動を行ひたるが、直接間接に我黨の輝しき發達に甚大なる貢獻を致した事實である。我黨が今後の目覺ましき發展を期する上に於いて、これらの支持團體との親密なる協力關係を保